



# 第2回海外経済セミナー

## サイクルツーリズム

### -東京-

近年、注目されているサイクルツーリズムは、地域の資源を活かしながら国内外から人を呼び込むことができ、地方創生に繋がる、大きな可能性を秘めた取組みと言えます。

本セミナーでは、日本のサイクルツーリズムの現状やインバウンドにおけるニーズの高まり等について、情報提供を行うとともに、インバウンド誘客に成功した先進事例の紹介を行います。さらに、取組みの成功の鍵や、行政に求められるもの等について、自治体や民間団体等、様々な立場・視点から、パネルディスカッションをしていただきます。

サイクルツーリズムやインバウンドの第一線で活躍されている方々を全国からお迎えし、講師としてご登壇いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております！

### 開催概要

日 時	令和元年9月25日(水) 13:00~16:45 (12:45開場予定)
場 所	都道府県会館4階 402会議室 (東京都千代田区平河町2-6-3)
主 催	一般財団法人 自治体国際化協会
対 象 者	自治体、DMO・観光協会含む関連団体等職員 (定員80名程度)
参 加 費	無料 (※事前登録制、先着順)

### 内容・次第

※ 内容・時間は、今後変更される場合がございます。

開会あいさつ 13:00~13:10	一般財団法人 自治体国際化協会 常務理事 船山 範雄
■基調講演① 13:10~14:00	「 <b>サイクルツーリズムに関する各種調査結果の共有と事例紹介</b> 」 一般社団法人 ルーツ・スポーツ・ジャパン 代表理事 中島 祥元 氏
■基調講演② 14:00~14:50	「 <b>地方を使ったインバウンド、サイクルツーリズムの戦略</b> 」 株式会社 ARCH・ヒーロー北海道 代表取締役 高橋 幸博 氏
14:50~15:00	=休憩=
■パネルディス カッション 15:00~16:45	「 <b>サイクルツーリズムの成功の鍵とは?</b> 」 モデレータ：一般財団法人 日本自転車普及協会 主幹調査役 栗村 修 氏  パネリスト：株式会社 ARCH・ヒーロー北海道 代表取締役 高橋 幸博 氏 滋賀プラス・サイクル推進協議会 自転車ツーリズムWG座長 佐々木 和之 氏 愛媛県企画振興部 政策企画局サイクリング普及調整監 坂本 大蔵 氏

### お申し込み方法等

【お申し込み方法】

9月20日(金)までに、下記のHPの申込フォームにてお申し込みください。  
<http://economy.clair.or.jp/activity/seminar/> (経済交流課・海外経済セミナーHP内)

【お問い合わせ】

一般財団法人 自治体国際化協会 交流支援部 経済交流課 (担当：佐藤・新野)  
TEL：03-5213-1726 / E-mail：keishin@clair.or.jp



## ①一般社団法人 ルーツ・スポーツ・ジャパン 代表理事 中島 祥元 氏

1976年富山県高岡市生まれ。早稲田大学人間科学部スポーツ科学科を卒業後、スポーツ関連ベンチャーの立ち上げに参加、のちに取締役を務める。UCI(国際自転車競技連合)主管の国際大会のオーガナイズに参画。2009年株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパンを設立、2012年一般社団法人ウィズスポ(現ルーツ・スポーツ・ジャパン)を設立し両法人の代表。主催するプロジェクト「ツール・ド・ニッポン」を通して全国の自治体のサイクルツーリズム施策に携わる。スポーツ庁「スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会」委員。



## ②株式会社 ARCH・ヒーロー北海道 代表取締役 高橋 幸博 氏

一般社団法人北海道サイクルツーリズム推進協会代表理事。国土交通省道路局自転車活用推進本部 ナショナルサイクリングルート制度検討委員。元地方公務員(土木技術専門職)。日本のサイクルツーリズム事業としてサイクリングイベント、キーパーソン招聘、メディアプロモーション、海外旅行博でのコンセプトをプロデュースし、地方創生事業で全国展開化する基礎を作った(青森、しまなみ、長野他)。また、国・自治体・民間と連携し、スポーツを使った地方と中央、海外との事業プロデュースや観光教育と人材育成の場づくり、観光プロジェクトの基礎の立ち上げを行っている。



## ③一般財団法人日本自転車普及協会 主幹調査役 栗村 修 氏

ツアー・オブ・ジャパン大会ディレクター。中学生のときにTVで観たツール・ド・フランスに魅せられロードレースの世界へ。17歳で高校を中退し本場フランスへロードレース留学。その後ヨーロッパのプロチームと契約するなど29歳で現役を引退するまで内外で活躍した。引退後は国内プロチームの監督を務める一方でJ SPORTSサイクルロードレース解説者としても精力的に活動。豊富な経験を生かしたユニークな解説で多くの人たちをロードレースの世界に引き込む。現在はツアー・オブ・ジャパン大会ディレクターとしてレース運営の仕事に就いている。



## ④滋賀プラス・サイクル推進協議会 自転車ツーリズムWG座長 佐々木 和之 氏

九州工業大学大学院博士後期課程単位取得退学。河川空間における住民行政連繫を研究していたことから、2009年川づくり・まちづくりコンサルタント水色舎(すいしょくしゃ)起業。ピワイチをきっかけに自転車+公共交通の推進を目指す民間団体、輪の国びわ湖推進協議会の設立業務を担当し、設立時から事務局長。官民連携組織である滋賀プラス・サイクル推進協議会にも、元となったビジョン策定時から関わる。



## ⑤愛媛県企画振興部政策企画局 サイクリング普及調整監 坂本 大蔵 氏

地元の愛媛大学法文学部法学科卒業。自転車歴は27年目。2012年自転車で台湾一周900kmを走破。現在、四国一周1000kmにもチャレンジするほか、石鎚山ヒルクライム大会競技委員長を務める。2013~2014年、日本で唯一高速道路を走行できるサイクリング大会「サイクリングしまなみ」の立ち上げ、運営に携わる。2015~2017年、愛媛県庁に新たに設置された自転車新文化推進室(現:自転車新文化推進課)の室長を経て、2018年からサイクリング普及調整監に就任(現職)。

## 会場地図・アクセス

### 都道府県会館

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3

- 東京メトロ『永田町駅』  
(有楽町線・半蔵門線) 5番出口より徒歩約1分  
(南北線) 9番b出口より徒歩約1分
- 東京メトロ『赤坂見附駅』(丸の内線・銀座線)  
D番出口より徒歩約5分

